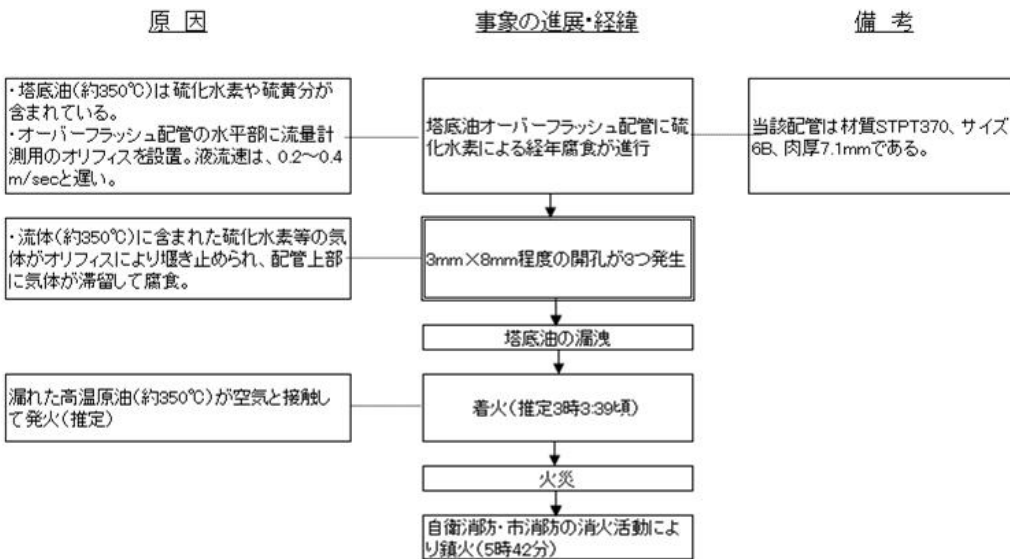




常圧蒸留装置オーバーフラッシュ配管腐食による漏洩火災

事象進展図

00001	常圧蒸留装置オーバーフラッシュ配管腐食による漏洩火災
発災年月日	2000/2/16
装置	《常圧蒸留装置》蒸留塔系
運転状況	定常運転中
特徴	配管滞留構造部の低流速下での硫化水素を含んだ高温油(350℃)による低グレード材料の腐食と漏洩・火災事例



再発防止対策
<ol style="list-style-type: none"> ① 硫化水素を含む内部流体が360℃以上の高温であり、流速が遅くガス溜り発生のある類似箇所について健全性の確認を実施する。 ② 次回定修工事まで、オーバーフラッシュ配管は取り外す。 ③ 当該配管のグレードアップ及び配管形状、交換周期の見直し。 ④ 機器保全対策を専門家により作成し、検査管理を強化する。
安全専門家コメント
腐食性ガスを含む流体の水平配管にオリフィス、コントロールバルブなどの遮蔽物があると、ガスが滞留し予想以上の腐食が進む可能性があるため、きめ細かな定期点検(肉厚測定など)を行い機器・配管管理を行う必要がある。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
<ul style="list-style-type: none"> ・配管材質及び形状不適切 ・流速が遅かった ・高温の硫化水素が存在 	滞留した硫化水素等による腐食開孔	《設計要因》機器・配管設計不良



常圧蒸留装置オーバーフラッシュ配管腐食による漏洩火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・川崎市消防局予防部保安課、オーバーフラッシュ配管火災、川崎市コンビナート安全対策委員会資料

▶ 添付資料



[図 オーバーフラッシュ配管説明図](#) (57 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 蒸留塔系
- 🔑 常圧蒸留装置 > CDU,ADU,HS,APS,PS
- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 流量計

▶ 関連情報